

指定管理者モニタリング報告書

指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和6年3月31日
施設名	直方市竜王峡キャンプ村
所在地	直方市大字上頓野 184 番地 1
担当課	商工観光課
施設設置目的	市の豊かな自然を代表する福智山ろくにある竜王峡の溪谷を利用して、森林浴や水遊びなどを通じて自然を体験し、市民へ憩いの場を提供する。

評価期間	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	
指定管理者	名称 代表者	直方市竜王峡運営協議会 渡辺 克也
	所在	直方市大字上頓野 2207-4
利用制度	利用料金制度	
指定管理業務 の内容	● キャンプ村の宿泊施設及び駐車場等の施設使用料の収受 ● 予約の受付管理 ● 施設の維持管理、利用促進 ● 開村に向けた環境整備、清掃等	
モニタリング の実施方法	● 実地確認、事業計画書・事業報告書の確認	

1. 業務の履行状況確認による評価

総合コメント	評価結果※1
適正な施設管理・運営が行われたかどうか。 ① 業務、業務の履行状況 事業報告書、実地検査において適正に実施されていることが確認された。 ※参考 令和4年度入村者数・利用料金収入 入村者数： 9,139 人、 利用料金収入： 900,800 円 ② 自主事業（提案内容）の実施状況 事業報告書において、適正に実施されていることが確認された。 しかし独自の情報発信がなく、広報活動が不十分である。 ③ 施設の管理状況 業務完了報告書及び実地検査において、開村期間中においては適正に管理されている。しかし、閉村期間中は施設管理および問い合わせ対応などは実施していない。	B

2. サービスの質的評価

総合コメント	評価結果※1
利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。 ① 基本的事項（ソフト面）…資料なし ② 維持管理業務（施設面）…資料なし ③ 自由意見 利用者アンケートそのものについては、令和4年度は実施できていないが、利用者意見を事業者と市で共有する体制は整っており、それらの意見にその都度可能な範囲で対応が出来ていることから、ある程度は施設利用者の満足度向上のための取り組みは実施できている。	C

3. 指定管理者の業務遂行能力（財務関係）

総合コメント	評価結果※1
適正な収支実績等のもとで、継続的・安定的にサービス提供がされているか。 ① 経営の健全性、継続性 3年ぶりの開村で利用客が減少したため収入は減少したものの、支出を抑えたことにより令和4年度決算は黒字となっている。 ② 会計処理の状況 年度終了後に事業報告書及び決算書の提出を行っており、会計処理については適正に行われている。	B

※1 評価三項目の評価基準		チェックシートの評価結果
A	協定書等の基準を遵守し、目標、計画の水準を上回る管理運営がされている。	全てB以上で、且つ、Aが過半数以上である。
B	協定書等の基準を遵守し、目標、計画の水準を概ね達成する管理運営がされている。	全てC以上で、且つB以上が8割である。
C	協定書等の基準を概ね遵守しているが、一部に改善の要する課題がある。	全てC以上である。
D	協定書等の基準が遵守されておらず、改善を要する課題がある。	Dが含まれている。

4. 総合評価

モニタリング内容の総括	総合評価※2
竜王峡キャンプ村は、竜王峡の溪谷を利用して、森林浴や水遊びなどを通じて自然を体験し、市民へ憩いの場を提供するために設置された施設である。 利用者数は大幅に減少となったが、コロナ禍で3年ぶりの開村となったため、利用者減の要因については一概に判断することは困難である。 一方で、コロナ禍以降、全国的にアウトドア需要が高くなっており、本施設においてもテントサイト等の屋外利用については需要が増えている傾向にある。また季節を問わず通年での利用を希望する声もあがっている。 今後は、これまで以上に利用者のニーズをアンケートなどの適切な手段で掴み、それらに合わせたサービスの提供、積極的な広報・PRを行う等、利用者獲得に繋げる取り組みが必要と思われる。 引き続き、事業者と施設所管課が十分に協議を行いながら、豊かな自然を生かした施設運営に取り組んでいただきたい。	C

※2 総合評価の評価基準		評価三項目の評価結果
A (優良)	優れていると認められる。	全て B 以上で、且つ、A が 2 つ以上である。
B (良好)	良好であると認められる。 ※軽微な改善点はあったが、速やかに改善され、適切であると判断されるものを含む。	全て B 以上である。
C (課題含)	概ね適正であると認められる。 ※改善点があったが、改善策が講じられているものを含む。	C が含まれている。
D (要改善)	改善が必要である。	D が含まれている。